

Fostex Stereo 祭

加藤 剛

1.はじめに

2019 年度の Stereo 誌の自作コンテストの入賞の副賞として、Fostex FE126NV をいただいた。
このユニットを使用して、クロスオーバー周波数を変更することによる視聴感の変化について実験する。

2. 外観

今回は、設計図を引かずに作成した。(これは前回と同じ)
エンクロージャーは 2012 年に当会のオフ会で発表した ([Gamatama](#)) の第 2 空気室を使用した。
円筒の一部を切り出して長方形の穴を開けてバッフル板を仕込む方法をとった。
このため。9 月のオフ会に披露したエンクロージャーをそのまま転用できる。



ネットワークは 100 均で購入した木の箱でセットした。



あえてスピーカー側には端子をつけなかった。
これは、外部でネットワークを組み立てるので、ケーブル端を外に出して配線をするためである。
空気漏れ防止と配線が無駄に引っ張られることを防止するための措置をとった。
方法：一定の位置に水道工事に使用するシールテープを巻いておきます。これを外側から引っ張れば綺麗に嵌ります。

エンクロージャー仕様

空気室容量;14.4L

ダクト: 内径 5cm, 長さ 10cm

共振周波数:44Hz

スピーカー

	ツイーター	ウーハー
モデル	Fostex PT20	Fostex FE126NV
形式	20mm ソフトドームツイーター	12cm フルレンジ
インピーダンス	8Ω	8Ω
再生周波数帯域	3kHz~32kHz	
出力音圧レベル	84dB	92.0 dB
入力(Mus.)	15W	45W
推奨クロスオーバー周波数	3kHz 以上	

実験するクロスオーバー周波数

- Fostex FE126NV フルレンジ 1 発
- ネットワーク(6dB/Oct)
クロスオーバー周波数:4250[Hz]
L1=0.3[mH]→0.3mH
C1=4.68[μF] →5.1μF
- ネットワーク(6dB/Oct)
クロスオーバー周波数:2500 [Hz]
L1=0.51 [mH]→0.5mH
C1=7.95 [μF] →8.2μF